

相模原市シルバー人材センター



公益社団法人
相模原市シルバー人材センター
相模原市中央区富士見4-3-1

令和8年6月1日現在
会員数 2,836名

第15回定時総会開催される



清水 薫
理事長



本村 賢太郎
相模原市長



大槻 和弘
相模原市議会議員

6月12日(金)、相模原市民会館ホールにて、令和8年度第15回定時総会が盛大に開催されました。

総会は、吉村理事の司会進行のもと、武田理事の開会あいさつで始まりました。清水理事長のあいさつでは、今年度からフリーランス法への対応のため「新たな契約方法」に移行したこと、また、地区長会議をブロック会議に統合したことが報告され、課題として会員数の減少があげられました。また、「熱中症対策および就業途上の事故防止など、安全に配慮した就業をお願いしたい。」と述べられました。

続いて、来賓としてご臨席いただいた大槻市議会議員長からご祝辞を賜り、「皆さまのこれまでの豊かな経験、知識、技能を活かしたご活躍は、企業、行政、学校など、地域社会の活力となっていることに敬意を表します。引き続き、お力添えを賜りますようお願いいたします。」とごあいさつをいただきました。

議事に先立ち、「正会員17年表彰」、「正会員10年表彰」及び「役員表彰」が行われ、長年にわたるご貢献に対し、深い敬意が表されました。議事では、田中議長の進行のもと、令和7年度の収支補正予算、事業報告、令和8年度の事業計画および収支予算が報告されました。また議決事項として、理事18名と監事2名の選任、令和7年度決算報告が提案され、すべて滞りなく可決・承認されました。

公務多忙のため、途中からご臨席いただいた本村市長からは、「清水理事長を先頭にワンチームで市民の皆様へ寄り添っていただいていることに感謝します。市として皆様に頼ることがたくさんあります。お元気で健やかに過ごしていただき、市政に引き続きご支援をお願いします。」と感謝のごあいさつをいただきました。最後に、岩本理事の閉会あいさつをもって、第15回定時総会は閉会しました。



司会



開会のことば



議長



受賞者の皆様



監事に選任



閉会のことば

理事会だより

5月8日(金)に第1回理事会が中央事務所大会議室で開催されました。令和7年度の事業報告と決算報告の他に3件の議案と3件の協議事項、11件の報告事項が報告され、慎重な審議の結果、承認されました。

また、6月12日(金)の第15回定時総会終了後には臨時理事会が開催されました。議案として、

代表理事及び常務理事の選出について審議され、理事長に清水薫理事、副理事長に植松省三理事、常務理事に宮崎健司理事が選任されました。また併せて、理事会専門部会の構成について審議され、各理事の所属部会が決定しました。各理事は総務・事業・組織の3部会に分かれ、理事会に提案する議案等を審議します。(構成は6ページ参照)



第53回相模原市民桜まつり参加



令和8年4月4日(土)・5日(日)の2日間、相模原の春を彩る恒例行事「第53回相模原市民桜まつり」が開催されました。初日の土曜日はあいにく肌寒い雨となりましたが、翌5日は一転して汗ばむほどの好天に恵まれ、市役所周辺には、200を超える団体によるブースやステージ、パレード等が繰り広げられ、多くの来場者で賑わいました

当センターのブースにも多数の方が訪れ、センターの活動を広く知っていただく絶好の機会となりました。物販ブースでは、会員が丹精込めて手作りしたバッグやポーチ、小物類などの手芸品を

展示・販売しました。

来場者からは「手作りの温かみがあって素敵」「丁寧に作られていて品質が良い」といった声が寄せられ、商品を手にする方々の笑顔があふれる、和やかな空間となりました。また、職員と会員が連携して事業内容の説明や入会案内、リーフレットの配布を行い、地域社会におけるシルバー世代の活躍を広くアピールしました。

春の雨に洗われ、散りゆく桜の下、市民の皆様と直接触れ合うことで、当センターへの理解を深めていただく貴重な機会となりました。運営にご尽力いただいた皆様、本当にお疲れ様でした。(山川)



植木講習会(前期)開催



中央・南・緑ブロック合同の植木講習会(前期)が、5月28日(木)・29日(金)の2日間、県立相模原公園で開催されました。植木の剪定作業への就業を希望する受講者17名が参加しました。

初日は午前10時から、安全就業推進員の梅本さんによる安全講習が行われました。安全対策の組織体制や就業にあたっての体調管理、事前チェックの必要性について、事故統計を踏まえながら説明がありました。

続いて、事務局より映像資料を用いたハチ対策や植木づくりの基本と技法の紹介、さらに(株)植籐の石川講師による剪定作業の心得や注意点についての講義が行われました。

午後1時30分からと翌日は実技研修が行われ、講師から剪定作業を始める前の注意点や、剪定の目的・方法・技法について指導を受けました。その後、受講者

はそれぞれ指定された場所へ移動し、剪定作業に取り組みました。

最後に講師から、「技術は一朝一夕に身に付くものではありません。向上心を持ち、経験を積み重ねながら技法の習得に努めてください」との講評がありました。なお、後期講習会は10月28日・29日に開催される予定です。(松本)



令和年8年度 表彰受賞者 (敬称略)

<p>正会員 17年表彰 40名</p> <p>小山 田中 豊 清新 東島 稔 北畠 義人 横山 前田 末男 中央北 森山 洋子</p>	<p>中央南 板橋 育代 工藤 幸子 下崎 俊朗 星が丘 比志島 清 森 謙二 青葉 横山 秀男 陽光台 佐野 肇 岩井 肇</p>	<p>緒方 靖治 大野北 小磯 勇 田名 名和 正義 千葉 真人 上溝北 酒谷 正樹 上溝南 木俣 和生 大野中 渡邊 幸次</p>	<p>相模大野 松本 正行 高岡 ミツ子 麻溝 新倉 修 村田 とよ子 麻溝台 中山 秀男 相武台 角田 幹夫 東林 金 喜美男</p>	<p>相南 田所 正江 平良 ヒデ子 橋本 植松 俊弥 朝倉 久義 二本松 吉岡 知彦 大沢東 吉田 恵夫 大沢西 瀬沼 スミ子</p>	<p>田村 昭美 城山 宮脇 守 安藤 貢 津久井 三浦 卓 大澤 榮三郎 辻井 絢子</p>
<p>正会員 10年表彰 115名</p> <p>小山 鈴木 俊男 谷口 洋一 横山 多田 秀子 佐藤 國男 中央北 角田 洋 守屋 守 中央南 高橋 義文 星が丘 沼田 克己 遠藤 定 井上 博 森泉 祐二 松本 豊 中村 榮子 小澤 正明 光が丘 加藤木みち子 大貫 糸子 野中 延恭</p>	<p>青葉 金塚 政雄 小林 眞智子 陽光台 羽部 義郎 渥美 久子 高橋 克子 大野北 坂野 芳雄 新井 良和 廣橋 光恵 梶原 真理 梅田 明義 上矢部 横山 好廣 塚本 清 板矢 ちよ 淵野辺 伊東 一彦 田名 栗山 静一 田村 利文 池田 重春 今泉 秀幸 上溝南 多田 美津子</p>	<p>西藤 泰之 大野中 樫村 昭二郎 安田 政之 大沼 浅山 武映 若松 澁谷 孝 坂本 早苗 小堀 慎子 大野南 市村 昌行 高垣 秋夫 藤田 雄一 一柳 茂 富田 浩一郎 上鶴間本町 三戸 拓 奈良坂 優 志村 浩 相模大野 加藤 昭夫 尾留川 一彦 高瀬 友子 原田 幸司</p>	<p>麻溝 梅木 忠 川上 武之 谷内 久雄 新磯 瓶子 三郎 平山 隆志 相模台 田中 昇 榮 千彰 山村 タイ子 新生 恭久 渋谷 昇 麻溝台 梅本 明嗣 花井 善次 前場 昇 相武台 松田 美津子 波呂 裕道 東林 半田 正子 中島 惟清 角田 亨 貫井 秀男 遠間 修平</p>	<p>佐藤 良江 藤吉 喜美子 相南 竹本 かな子 石川 治男 徳永 みどり 平賀 正朗 橋本 伊藤 博 小林 秋男 西橋本 原 英樹 小宮山 明 小菅 勝年 杉山 理 矢澤 由久 浦野 春江 相原 徳永 武司 二本松 清水 求 杉本 由美子 中西 和代 宮崎 雅夫 小尾 宏仁</p>	<p>大沢東 齋藤 勝男 鈴木 昇 大沢西 多田 春夫 萩原 明 山口 茂雄 清水 利子 城山 佐藤 久子 入倉 照男 落合 勝司 小野澤 恵 相田 信夫 佐藤 啓助 高橋 精治 津久井 吉川 彰 村岡 君代 鶴見 健 相模湖 江藤 洋治 佐野 平二 石井 正義 藤野 山口 良夏</p>

役員表彰

<p>会員氏名 選出区分 理事就任日</p>	<p>小川 充信 緑ブロック 平成 30 年 5 月 31 日</p>	<p>木村 文江 学識経験者 平成 25 年 5 月 31 日</p>	<p>菊地原 浩二 法人 令和元年 5 月 31 日</p>
--------------------------------	---	---	--



いきがいの仲間たち

図書返却ポスト集荷等業務に就業 【南ブロック】

相模大野駅北口駅前の図書返却ポスト集荷等業務に就業する栗田さんと五月女さん取材させていただきました。

図書館利用者の利便性向上を図るため、令和5年7月20日に小田急線相模大野駅北口駅前ペDESTリアンデッキ上に青い図書返却ポストが設置されています。相模原市の図書館や公民館図書室で借りた本のみを返却できるポストとなっています。

就業期間は令和8年4月1日から令和9年3月31日までで、相模大野図書館の休館日である月曜日の午後1時から3時まで、実働2時間、各週交代で就業されています。

就業内容は、折りたたみコンテナ（2箱）を積載した台車を使用し、相模大野駅北口に設置されている図書返却ポストから、本が傷まないようコンテナに平積みして回収します。その後、グリーンホール相模大野2階階段下倉庫前で、大野図書館の資料とその他の図書館・公民館図書室の資料に仕分けし、ブックトラック（本を手押しで運搬する器具）に積載して倉庫内に取め、施錠・保管して終業となります。

雨天時はビニールカバーを掛けて対応します。

返却される本は180冊程あり、知識の本やものがたり、絵本などの幼児向けの本が多いそうです。

お二人の趣味をお伺いしたところ、栗田さんは社交ダンスで、サークルに所属し、社交ダンス連盟のお手伝いもされているそうです。五月女さんはドジャースファンで、野球観戦が趣味だとおっしゃっていました。ご協力ありがとうございました。（松本）



左から栗田さん、五月女さん

橋本駅北口バス乗り場で案内と整列業務に就業 【緑ブロック】

橋本駅北口多摩美術大学行きバス乗り場で、バス案内と整列業務に就業する岡本さん、鈴木さん、大和さん、櫻井さんを現地にて取材しました。

業務内容は毎月、事務所が大学側と打合せを行い決まります。業務時間は午前8時から9時までで、人数は曜日により1人のときと2人のときがあり、順番に行っています。

業務内容は多摩美大行きバス乗り場でお客様を案内し、整列していただき、スムーズに乗車していただくことです。他のバスを利用する乗客や北口ロータリーを通る人たちにも注意を向ける必要があるため、列の前に行ったり後に行ったりして声掛けを行うので大変疲れます。整列をお願いしていると、関係のない人たちから「道を開ける」「邪魔だ」など、いろいろな言葉を言われることがあります。中には暴言を吐く人もいて、常に冷静な対応を心掛けているそうです。一番忙しいときは入試や入学式のときで、8名体制になることもあります。

趣味を聞くと、岡本さんは、ゴルフを月1回ラウ

ンドするのと家庭菜園で野菜を作るのが楽しみと申していました。鈴木さんは月1回のゴルフラウンドと少年野球の指導。大和さんはバイクが好きで、以前はよくツーリングをしていたとのことでした。櫻井さんは音楽が好きで、オーケストラや吹奏楽の演奏会に足を運んだりするとのことでした。

取材へのご協力ありがとうございました。

（山口）



左から大和さん、岡本さん、鈴木さん、櫻井さん

創作手芸品の販売で就業

【中央ブロック】

上溝にお住いの橋本さんにお話を伺いました。

橋本さんは長らくいろいろな手芸を作って、桜まつりや事務所に出品をしています。

手芸といっても多彩でトールペイント（木の板や布や革製品などにアクリル絵の具で絵などを描く）、ステンシル（文字や絵柄をくり抜いた型紙を素材の上に置き、上から絵の具やインクを刷り込む）、ラブフッキング（ウールのコートなどを紐にしてマットなどにする）、ウッドバーニング（木を焦がして文字書き）をやられているとのこと。

30代の時から独学でやられているそうです。数年間は人に教えてもらったことがあるそうですがその後は、手芸教室で教えたり自宅で教えたりしたそうです。現在も生徒がおり、教える機会があるそうです。

長年教えることでいろいろな場合の対処方法が分かってきたと話していました。

桜まつりではバッグ（ナイロン）、ウェルカムボ

ード、猫の人形などを出品されたそうです。

創作作業は月の半分ぐらいで、やる気になると4、5時間ぐらい夢中でやってしまうとのこと。

新しい材料でなくリメイクが好きだそうです。ランドセルや古ベルトなどに絵を描くのが楽しいと話されました。出来上がるとうれししいし、最後の方で最初と違ってくるので、一つ乗り越えると喜びがひとしおだそうです。

お忙しいところ、取材にご協力いただきありがとうございました。（小林）



創作活動をする橋本さん



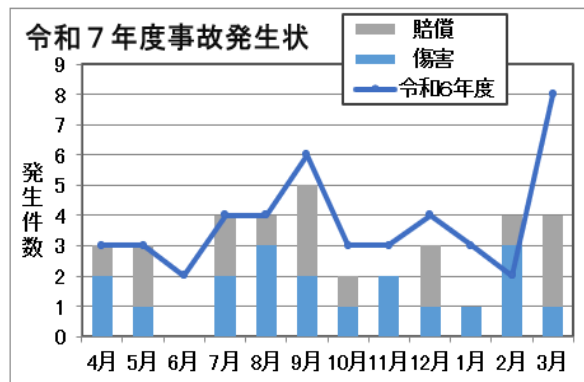
安全管理委員会からのお知らせ

6月1日より、安全対策員による就業現場への安全巡回が開始いたしました。本年度も会員の皆様のご協力をいただきながら、事故防止に向けた活動を実施しています。

【就業会員の事故発生状況】

令和7年度の事故発生状況がまとまりましたのでご報告いたします。傷害・賠償合わせて32件で、前年と比較すると件数は抑えられているものの、年度後半にかけて増加する傾向が見られました。また、事故内容を見ますと、就業中や就業途上における確認不足や見落としなど、基本的な安全確認により防ぐことができたと思われる事例も見受けられます。

なお、令和8年度は5月末現在、傷害事故4件、賠償事故1件の計5件が発生しています。傷害事故では、就業中の転倒による大腿骨骨折のほか、就業途上における自転車・徒歩での転倒や交通事故が見られます。特に、傷害事故4件のうち3件が就業途上で発生しており、就業場所への行き帰りを含めた安全の重要性を示す結果となりました。また、賠償事故は除草作業中に給湯器の凍結防止用ケーブルを切断した事例で、作業前の確認不足が要因と考えられます。



【令和8年度安全活動より】

本年度は、安全啓発活動や安全情報の周知、ヒヤリハット活動を推進し、会員一人ひとりの安全意識の向上と事故防止に取り組んでまいります。安全を最優先とした就業環境づくりへのご協力をお願いいたします。

【お知らせ】

会報同梱の「安全ニュース」には、直近に発生した事故の詳細や、事故防止に向けた様々な情報を掲載しています。是非、ご参考の上、安全就業に活用していただきますようお願いいたします。

役員紹介

6月12日(金)に開催された第15回定時総会において、次の方々が選任されました。
また、同日に開催された臨時理事会において、理事長、副理事長及び常務理事と各理事の所属部会が決定されましたので紹介します。

理事



理事長
清水 薫



副理事長
植松 省三



常務理事
宮崎 健司

中央ブロック会員代表



関野 劭
(総務部会)



木村 和夫
(組織部会)



吉村 利康
(事業部会)



田中 恵一
(組織部会)



伊東 恵比子
(事業部会)

南ブロック会員代表



跡部 逸郎
(総務部会)



三戸 拓
(組織部会)



武田 栄子
(組織部会)



福田 実
(事業部会)

緑ブロック会員代表



岩本 雄
(総務部会)



平本 清
(事業部会)



八木 孝子
(総務部会)



窪田 哲夫
(組織部会)

学識経験者等



山口 信郎
(自治会連合会
事業部会)



岡崎 扶佐子
(学識経験者
総務部会)

監事



笹野 一夫



原田 和史

同好会活動紹介(緑ブロック)

緑ブロックで活動しているカラオケ同好会の活動を紹介します。

緑ブロックのカラオケ同好会の代表は岩本さんです。月に一度、緑区内のカラオケ店で活動を行っていて、40名前後が参加されています。

今年は4月30日(木)に、相模原市老人福祉センター溪松園の大集会室を貸切って発表会を行いました。

33名の方が参加され、カラオケとお楽しみ抽選会で大いに盛り上がりました。唄うもよし、聴くもよし、仲間になって一緒に楽しみませんか。ぜひご参加をお待ちしています。



会員旅行(南ブロック)

5月20日(水)に南ブロックで三崎港と三浦半島をめぐる旅行会が開催され、29名が参加しました。午前中の目的地、三崎港では、港町の雰囲気を楽しみながら海鮮市場でお土産の購入と、漁港近くの食事処「海の幸」でマグロ3種盛り定食を昼食に堪能しました。午後は県立城ヶ島公園と「くりはま花の国」を散策。心地よい潮風と景色の中、思い思いに過ごしました。行き帰りの車内のカラオケも大いに盛り上がる旅行となりました。次回は秋に一泊旅行を予定しています。



(南ブロック旅行会幹事一同)

市の健康診査を受診しましょう

センターでは、「自分の健康は自分で守りましょう」ということを掲げています。ケガと同様に、病気にも十分な注意が必要です。体に異常を感じた場合は、速やかに適切な手当てを受けましょう。

・定期的に健康診査を受け、常に自分の健康状態を知っておきましょう。

▼74歳以下の方【特定健康診査】

費用

1,000円(当該年度70歳以上の方、及び当該年度69歳以下で市民税非課税世帯に属し事前申請があった方は費用が免除されます。)

受診券の入手方法

前年度から国保へ加入している方には4月または6月に発送されます。

届かない時、紛失した場合の連絡先

市国民健康保険コールセンター
☎042-707-8111へ
お問い合わせください。

▼75歳以上の方【後期高齢者健康診査】

費用

無料

受診券の入手方法

前年度から国保へ加入している方には4月または6月に発送されます。

上記以外の方の連絡先

相模原市後期高齢者医療コールセンター
☎042-707-8787 若しくは、
電子申請などでお問い合わせお申込み
ください。

就業報告書提出用のメールアドレスがあります！

就業報告書などの提出にご利用下さい。就業報告書は PDF データ に変換してお送りください。

中央事務所：sagamisc-chuo@sjc.ne.jp

津久井連絡所：sagamisc-tsukui@sjc.ne.jp

南事務所：sagamisc-minami@sjc.ne.jp

相模湖・藤野連絡所：

緑事務所：sagamisc-midori@sjc.ne.jp

sagamisc-sagamiko@sjc.ne.jp

※各アドレスは受信専用のため、返信はありませんのでご注意ください。

送付した原本は改めて提出する必要はありません。

職員人事異動

【採用】令和8年5月1日付

緑事務所 嘱託主事補 城所 美智



お仕事情報



センターのホームページに、最新お仕事情報!!を掲載しております。

スマホで下記QRコードを読み取り閲覧できます。ご希望の仕事がございましたら、各事務所連絡先にお気軽にご連絡ください。お待ちしております！



ハラスメントに注意しましょう！

◆ 会員同士、あるいは会員から職員に対する心無い言動が見受けられることがあります。会員の皆様もお互いを尊重し合い、日々の就業に努めてまいりましょう。◆



他人事とは思わずに、自分事として考え、一人ひとりが当事者意識を持って！

各事務所連絡先

- 【事務局・中央事務所】 042(754)1177
- 【南事務所】 042(745)2158
- 【緑事務所】 042(783)1313
- 【津久井連絡所】 042(780)1872
- 【相模湖・藤野連絡所】 042(684)3126

安全就業標語

令和8年度 県シ連
安全就業表彰受賞のご紹介

佳作 武井光一

「熱中症 ねっちゅうし過ぎて 気が付かず」

読者投稿作品

山へ来て 山菜取れず

クマも見ず

久しぶり 顔はわかるが

名を忘れ

冷蔵庫 開けて見たけど

何と何だっけ

どっこいしょ 思わず言って

立ち上がり

田名 島山 義喜

人間に 生まれただけで

金メダル

耳すます 物価値上げの

音がする

双子ちゃん ランドセルだけ

違う色

二本松 見城 マサ子

編集委員からのお願い

めぐり会いの広場では、読者の方からの投稿をお待ちしています。編集委員 一同

編集後記

近年、80歳を過ぎても50代並みの認知機能を保つ「衰えを知らない人」が注目されています。

特別な才能を持つ人のことではなく、日々の生活の中で無理なく続けられる習慣や、前向きな姿勢を大切にしてきた人たちです。脳は年齢に関係なく鍛えることができ、社会とのつながりや適度な役割を持つことが、その大きな支えになると言われています。

シルバー人材センターでの活動は、まさにその脳の「健康習慣」と深く結びついています。地域の役に立ちながら、外に出て人と関わり、適度に体と頭を使うことは、認知機能の維持にとっても効果的です。「誰かに必要とされている」という実感は、生きがいとなり、心の張り合いにもつながります。

センターには、これまでの経験を活かせる仕事から、初めてでも挑戦しやすい軽作業まで、さまざまな活動があります。新しい仲間との出会いや、ちょっとした収入も、日々の楽しみを広げてくれます。

年齢を重ねても、まだまだできることはたくさんあります。健康でいきいきとした毎日が続けるために、シルバー人材センターで積極的に活動してまいりましょう！

編集委員 山川